



Kashin Disclosure

かしんディスクロージャー

鹿児島信用金庫



理事長
市川 博海

ごあいさつ

皆さまには、平素より鹿児島信用金庫に格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。日頃のご愛顧とご支援を心から感謝申し上げます。

このたび、当金庫では代表理事 理事長に市川博海が就任いたしました。

今後とも鹿児島の地域経済並びに金庫事業の更なる発展に尽力致す所存でございますので、皆さまの変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

欧米ではエネルギーや原材料価格の高騰、賃金インフレ抑制のために各国の中央銀行が急速な利上げを継続していることから、米国金融機関が破綻するなど景気の減速・後退の懸念を内包しております。一方、国内においては、海外との金利差拡大を主因とした円安により原材料価格が高騰しており、物価上昇を受けた個人の節約意識の高まりが予想されます。

県内の景況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う宿泊者数の増加やクルーズ船の寄港再開による観光関連・個人消費の持ち直しが期待されます。また、九州では世界最大手の半導体企業の工場建設により、関連企業の工場が増設されるなど経済面での波及効果も見込まれております。

このような状況の中、当金庫は取引先の資金繰りを支え、事業継続を徹底的に支援し、地域経済の回復に努めることを最重要課題とし、中小事業者に対する丁寧かつ寄り添った資金繰り支援、経営改善、事業再生支援に取り組んでまいりました。

このほか、周年事業を通じた個人取引の一層の推進に努めたことにより一定の最終利益を確保するなど、順調な業績を収めることができました。皆さま方のこの1年間のご支援、ご協力に厚く感謝申し上げます。

今年度は、中期計画「支援力の強化と変革への挑戦」の最終年度として、地域の課題解決に尽力し、辛せづくりと地域社会全体の成長に貢献することを目指し、役職員一同全力を尽くしてまいります所存です。

皆さま方におかれましては、何卒、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和5年7月

理事長 市川 博海



■コーポレートマーク



CONTENTS

ごあいさつ	1
当金庫の概要	2
役員	3
組織図	4
信用金庫のしくみについて	5
令和4年度の事業概況	7
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組みの状況	9
内部統制システムについて	19
リスク管理体制	21
コンプライアンス態勢について	23
金融ADR制度への対応	27
業務内容	29
店舗一覧	33
信金中央金庫のご案内	37
資料編	38

当金庫の概要

本店所在地	／鹿児島市名山町1番23号
創立	／大正11年10月1日
会員数	／43,919先
出資金	／41億30百万円
預金	／3,312億円
貸出金	／2,203億円
店舗数	／38ヶ店
常勤役員数	／383人

(令和5年3月31日現在)



左から 奥常務理事、市川理事長、増田常務理事

役員

(令和5年6月23日現在)

■理事長	市川 博海	■常勤理事(営業統括部長)	西村 義久	■理事	桃木野 聡	■監事	岩元 耕兒
■常務理事	奥 克幸	■常勤理事(融資部長)	加治屋 誠	■常勤監事	米森 幸一		
■常務理事	増田 明	■理事(相談役)	岩男 秀彦	■監事	東條 正博		
■常勤理事(企業サポート部長)	出口 浩	■理事	小正 芳史	■監事	梅田 望		

※理事 岩男 秀彦、小正 芳史、桃木野 聡は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
 ※監事 東條 正博、梅田 望は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

【 経 営 理 念 】

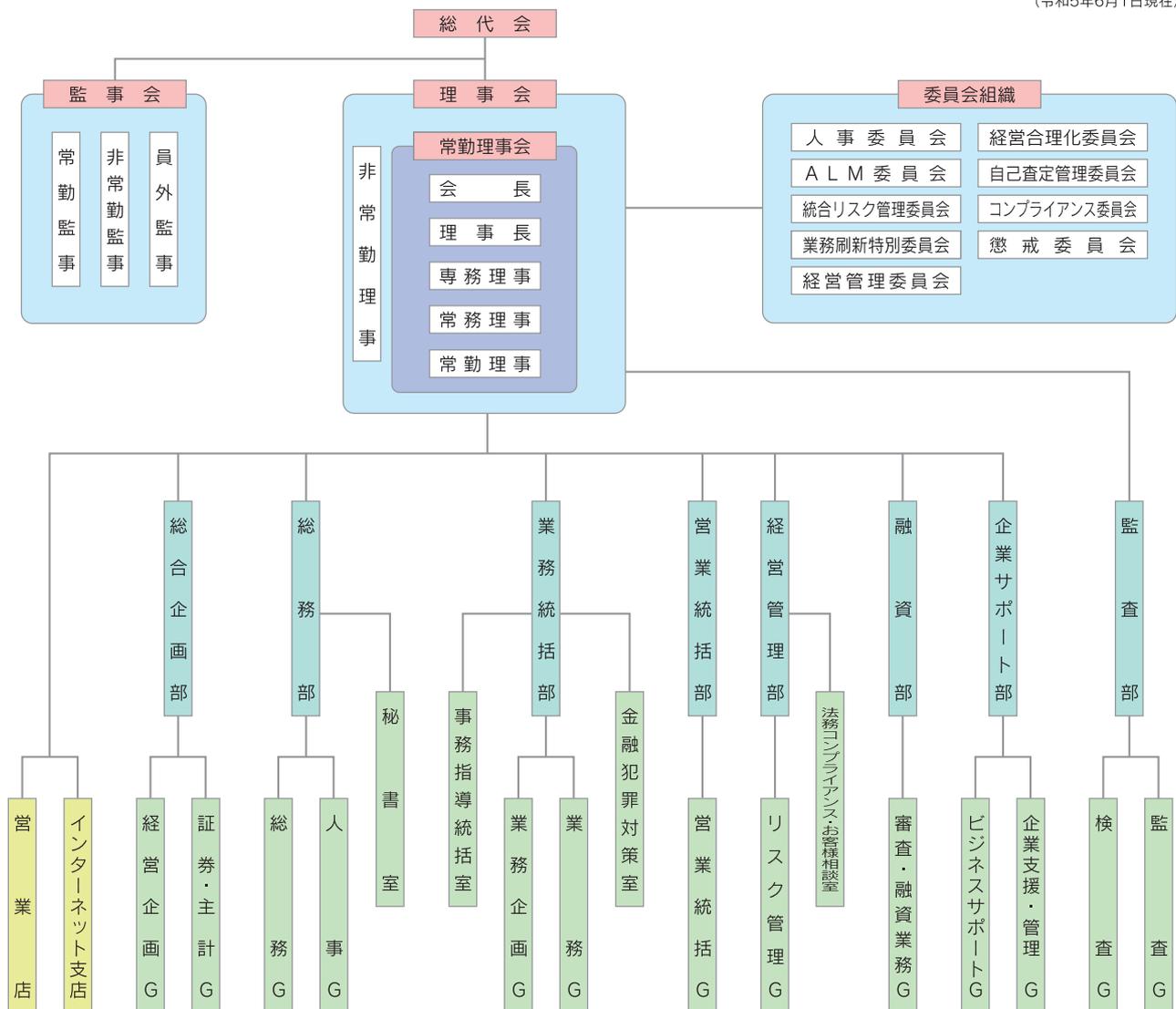
中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体質をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関として皆様とともに成長・発展を目指します。

【 基 本 方 針 】

- 我々は地域経済の伸展に寄与する。
- 我々は自己の職責を誠実に果たす。
- 我々は中小企業者へ奉仕する。
- 我々はお互いの資質向上に努める。
- 我々は金庫の健全経営に協力する。

組 織 図

(令和5年6月1日現在)



【信用金庫のしくみについて】

総代会制度について

1 総代会とはどういうものなのでしょう

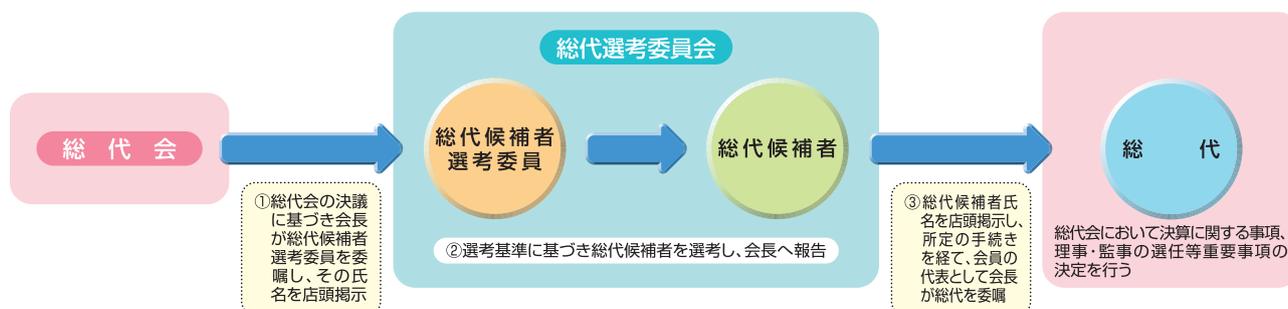
信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人1人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されております。

なお、当金庫では、総代会の機能強化に向け自主的な取組みを一層推進してまいります。

さらに、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善にも積極的に取り組んでまいります。

総代会は、会員1人1人の意見を適正に反映するための開かれた制度です



2 総代とその選任方法(当金庫 定款24条～30条 及び 総代選任規程)

(1) 総代の任期・定数

- ・ 総代の任期は3年です。
- ・ 総代の定数は150人以上180人以内で、各選任区域の定数は、その区域の会員数に応じて定められています。

令和5年3月31日現在

選任区域	会 員 数			主 な 営 業 区 域
	法 人	個 人	合 計	
1区	1,842	8,339	10,181	本店営業部・高見馬場支店・伊敷支店・吉野支店・上町支店・岡之原支店
2区	2,073	8,663	10,736	武町支店・城西支店・鴨池支店・郡元支店・紫原支店・甲南支店・谷山支店・田上支店・脇田支店・南栄支店
3区	1,554	8,045	9,599	指宿支店・串木野支店・枕崎支店・湯之元支店・伊集院支店・加世田支店・出水支店・川内支店・阿久根支店・知覧支店
4区	1,947	11,456	13,403	加治木支店・鹿屋支店・国分支店・大口支店・栗野支店・隼人支店・牧園支店・宮之城支店・蒲生支店・始良支店・志布志支店
合計	7,416	36,503	43,919	

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から、総代会決議により総代候補者選考委員を選任する。
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(3) 総代の選考基準

- ① 資格要件 ・ 当金庫の会員であること
- ② 適格要件 ・ 総代として相応しい見識を有していること
・ 良識をもって正しい判断ができる人であること
・ 地域における信望が厚く、総代として相応しい人であること
・ 人格、見識に優れ、当金庫の発展に寄与できる方
・ 金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する方

第101期通常総代会

第101期通常総代会が、6月23日(金)「鹿児島サンロイヤルホテル」において開催されました。

総代総数159名中155名出席(うち63名委任状受理)のもと以下の議題が附議され、賛成多数で可決されましたことをご報告いたします。

- 【報告】** 業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
【議案第1号】 剰余金処分案承認に関する件
【議案第2号】 会員除名に関する件
【議案第3号】 理事の任期満了に伴う選任の件
【議案第4号】 退任役員に対し退職慰労金贈呈の件



鹿児島信用金庫総代氏名 (令和5年6月23日現在 総代数159名 本誌掲載総代数159名)

記載の方々が当金庫の総代として、会員の方々を代表して当金庫の経営に参加されております。
 ※ここに記載してあります総代の方々には、個人情報の第三者への開示について事前に同意をいただいて、公表しております。

第1区		安 樂 勉⑤	今 給 黎 正 己③	立 石 雄 二②	重 久 盛 哉⑥
長 島 和 實⑬	前 田 孝 夫⑪	大 迫 純 隆⑧	戸 床 恵 美子①	中 村 本 吉 勝③	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
小 田 正 弘⑫	福 留 実 七⑦	吉 留 康 貴④	松 尾 泰 博⑥	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
野 田 健 太⑫	青 木 英 一 郎③	濱 邊 正 裕 之①	原 盛 平 浩 一 郎⑥	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
宮 原 敏 孝⑩	富 永 洋 三 三②	上 塘 村 千 尋⑥	留 盛 平 浩 一 郎⑥	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
堀 切 博⑨	小 木 下 博 司⑬	内 大 久 保 清 志⑥	山 口 茂 樹⑥	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
川 島 英 和⑦	有 村 信 一⑪	末 吉 高 尋⑤	桐 原 井 永 田 義 敏 一④	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
田 畑 勇⑥	三 井 清 隆⑤	花 田 康 隆①	平 井 永 田 義 敏 一④	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
肥 田 木 康 正⑥	中 島 賢 二 郎③	末 吉 清 海⑧	富 小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
上 拾 石 秀 介⑤	稲 留 山 亮②	牧 吉 晴 一 郎⑧	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
吉 橋 口 俊④	春 濱 山 崎 一 安 伸⑪	吉 深 水 清 秀⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
小 福 田 博④	牧 安 伸⑪	深 水 清 秀⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
岩 男 直 哉④	小 坂 元 幸 一⑤	布 袋 眞 一 郎③	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
吉 田 健 朗④	第2区	時 村 友 一 郎⑦	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
中 村 博 之③	小 手 川 康 雄⑬	玉 利 佳 久③	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
萩 原 美 恵 野③	新 福 誠 一④	第3区	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
萩 原 敏 幸①	新 松 俊 也③	中 村 勝 信⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
松 山 健 二 郎①	久 永 忠 範①	中 村 勝 信⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
指 宿 忠 一①	川 上 哲 三⑭	堀 之 内 荒 生④	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
肥 後 修①	上 塘 守⑬	堀 之 内 荒 生④	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
六 反 田 眞 一①	内 門 一 郎⑪	後 迫 芳 周④	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
米 盛 庄 一 郎①	森 山 清 隆⑤	高 崎 幸 隆③	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
諏 訪 園 匠①	森 武 夫⑤	吉 福 村 光 弘⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
鶴 留 政 博⑥	山 之 内 浩 明⑤	福 松 下 明 弘④	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
前 田 幸 一⑤	神 村 茂 廣④	飯 尾 茂 樹③	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
高 橋 悟④	時 任 保 彦②	上 竹 秀 人②	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
三 浦 男②	永 田 浩 二⑨	山 口 井 清 義①	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
鳥 井 ヶ 原 昭 人①	中 園 功 博⑥	松 野 下 功 一⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
津 曲 善 三⑧	高 村 純④	松 野 下 功 一⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
坂 上 義 紘⑦	中 村 元 保①	松 野 下 功 一⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
徳 田 良 美⑥	松 元 大 志⑩	松 野 下 功 一⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫
山 元 茂⑥	田 實 大 志⑩	松 野 下 功 一⑥	小 田 屋 田 池 宇 中 永 白 山 内 正 末 眞 前 隈 新 高 水 和 岩 梅 長 岩 山	小 永 吉 脇 重 功 祐 治⑫	岸 本 吉 脇 重 功 祐 治⑫

※氏名の後の数字は、総代への就任回数

■総代の属性別構成比

※業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限る。

就任回数別	10期以上 10.7%	5期～10期未満 32.1%	1期～5期未満 57.2%				
年代別	70代以上 51.6%	60代 28.9%	50代 15.7%	40代以下 3.8%			
職業別	会社役員 81.1%	個人事業 18.9%	個人 0.0%				
業種別	製造業 10.7%	建設業 33.4%	不動産業 4.4%	卸・小売業 17.6%	医療福祉 3.1%	サービス業 22.6%	その他 8.2%

【令和4年度の事業概況】

1 事業方針

令和4年10月に創立100周年を迎えるにあたり、新中期計画「支援力の強化と変革への挑戦」～課題解決による地域経済の力強い回復を目指して～(令和4年4月1日～令和6年3月31日)を策定し、「取引先の伴走的なサポートの進化」、「地域貢献の更なる徹底」、「鹿児島における継続性の確保のための収益力等の強化」、「地域を担う信用金庫人と人事制度の導入」、「不祥事件根絶に向けたコンプライアンス態勢強化とリスク管理態勢の強化」を基本方針に掲げ事業に取り組んでまいりました。

ウクライナ情勢悪化の影響を受けたエネルギー価格の高騰、海外金利上昇を主因とした円安進行の影響を受けた輸入物価上昇など、企業活動や物価上昇による個人消費への影響が懸念される中、取引先の資金繰りを支え、事業継続を徹底的に支援し、地域経済の回復に努めることを最重要課題とし、中小事業者に対する丁寧かつ寄り添った資金繰り支援、経営改善、事業再生支援に取り組んでまいりました。また、基本方針の中でも「不祥事件根絶に向けたコンプライアンス態勢強化とリスク管理態勢の強化」を最重要課題と位置付け、役職員のコンプライアンス意識の更なる醸成を図るため抜本的な改善策を着実に実行してまいりました。

2 金融経済環境

欧米ではエネルギー価格や原材料価格の高騰、賃金インフレ等により急激にインフレが進み、各国の中央銀行はインフレ抑制のため急速に利上げを実施した結果、インフレはピークアウトの兆しが見られるもののいまだ高い水準で推移しております。また、米国金融機関の破綻など急激な利上げに伴う景気減速・後退の懸念も内包しております。

国内においては海外との金利差拡大を主因とした円安により原材料価格が高騰しており、海外と比較すると上昇率は低いものの物価は上昇傾向となっております。その様な市場環境の中、日本銀行の金融緩和と政策は維持されていましたが、海外金利上昇に伴う国内金利への上昇圧力は高く、市場機能維持を企図した長期金利の変動幅拡大など金融緩和と政策の一部修正が行われております。

市場環境の変動や物価上昇に十分注意する必要がある一方、新型コロナウイルス感染症は収束に向かっており、ウィズコロナの下で経済活動の本格化が期待できる状況になりつつあります。本県においても、宿泊者数の増加やクルーズ船の寄港再開による観光関連・消費関連の持ち直しが期待されます。また、九州では世界最大手の半導体企業の工場建設を始め、半導体関連企業の工場増設など設備投資が活発になっており、九州経済への波及効果も期待されます。

3 業績

令和4年度の預金については、定期性預金は減少したものの、流動性預金は増加したことで預金残高は前期に比べ11億42百万円減少し3,312億37百万円となりました。

貸出金については100周年事業に係る推進、原材料高騰対策特別資金等の取組みにより残高は前期に比べ34億30百万円増加し2,203億53百万円となりました。

収益面では、低金利での原材料高騰対策特別資金や100周年事業に係る推進の影響から貸出金利の低下圧力がかかり、貸出金利息が減少となりました。また、金利上昇の影響や先行き不透明感の高い市場環境であったことから有価証券関連収益が減少した為、経常収益は対前期比3億19百万円減少し56億8百万円となりました。

費用面では、人件費の減少、物件費の抜本的な見直しによる削減に取組み、また、取引先に対する「伴走的サポート」による丁寧かつ寄り添った支援を行ったことで不良債権化の抑制が図られた為、経常費用が対前期比1億60百万円減少するとともに不良債権比率は2.13%となりました。この結果、経常利益は対前期比1億59百万円減少の3億35百万円、当期純利益は41百万円減少の2億37百万円となり、令和4年度決算は「減収・減益」となりました。

4 事業の展望及び当庫が対処すべき課題

令和5年度は中期計画「支援力の強化と変革への挑戦」～課題解決による地域経済の力強い回復を目指して～の最終年度であり、100周年事業の最終年度にもなることから、金庫役職員全員が目標を同じくし、一枚岩となり厳しい環境を乗り越えるべく、業務運営重点項目に「スタートアップ等の成長促進」、「規制緩和による新たな収益力向上」の取組等を加え、昨期の方針を進化させた事業計画を策定しました。

また、昨年度に引き続き「不祥事件根絶に向けたコンプライアンス態勢強化とリスク管理態勢の強化」を基本方針の中でも特に重要な課題と位置付け、役職員のコンプライアンス意識の更なる醸成を図るため抜本的な改善策を着実に実行し、役職員全員が「金庫で定められたルールを必ず守る」ことを徹底してまいります。

【経常収益】



【経常利益】



【当期純利益】



【自己資本比率】



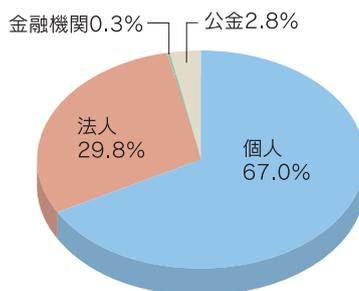
【不良債権比率】



【預金積金残高】



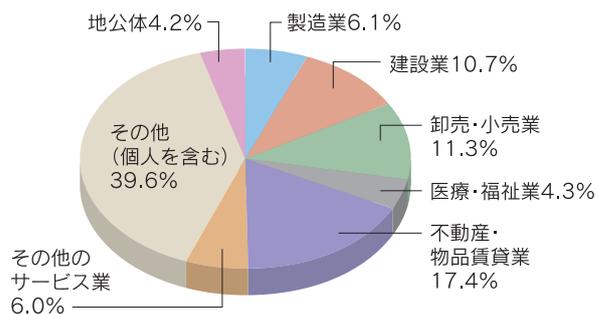
【預金残高全体に占める預金者別割合】



【貸出金残高】



【貸出金残高の業種別比率】



【中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況】

かしの杜

「つなぐ力の発揮」 かしの地域貢献活動

地域の活性化を図るため、鹿児島信用金庫の地域貢献として「かしの杜」(かしん総合人材育成構想)活動を行っております。

かしの杜

① 経営の杜

- ①かしん経営大学
- ②かしんビジネスチャレンジプラザ
- ③かしんトップマネージメント大学
- ④かしん経営者フォーラム
- ⑤かしん経営相談室
- ⑥かしん企業サポート相談室

② ITの杜

- ① IT化推進に向けた研修・相談会の実施
- ② IT・AI・ロボット等の導入支援
- ③セキュリティ対策の支援

③ 教育の杜

- ①かしんアイホールセミナー
- ②かしんこども信用金庫教室
- ③かしん自然ふれあい教室
- ④硬筆コンクール協賛

④ 音楽の杜

- ①かしんチャリティー演奏会
- ②南日本音楽コンクール協賛
- ③各種ミニコンサート

⑤ スポーツの杜

- ①かしんカップ少年サッカー大会
- ②かしん旗少年剣道大会
- ③鹿児島信用金庫旗争奪
全日本少年軟式野球大会・鹿児島県予選大会
- ④かしん旗争奪少年ソフトボール大会
- ⑤かしん旗争奪鹿児島県学童軟式野球大会

⑥ 緑の杜

- ①植樹による「かしの森」活動
- ②各種エコ活動

⑦ 地域の杜

- ①各地域での清掃活動
- ②献血活動

経営の杜

① かしん経営大学

経営戦略や企業発展を目指すための勉強を目的として、平成8年に「かしん経営大学」を開校しました。



次世代を担う経営者としての資質の向上と、真のリーダーシップを学び企業経営に役立て、さらに鹿児島の経済に寄与できる人材の育成を目指しています。

また、近年では経営者だけではなく、意欲ある社員の方や地方公共団体の職員も参加し、地域活性化のための事業計画の立案にも取り組んでいます。

講座では、経営に必要な知識や考え方、スキルを学ぶ座学研修と学んだ知識を生かしてグループワークを行います。異業種によるグループワークで一つのテーマに基づいた事業計画を作成することで、各業種から参加された方々が自らの業界との比較や経営方法を他社から学び活かしていくことは、非常に貴重な経験となります。



② かしんビジネスチャレンジプラザ

「かしん経営大学」卒業生のフォローアップと県内中小零細企業活性化のための経営者育成並びに創業を支援し、多彩なビジネスを創造することで地域産業の成長に貢献することを目指しています。

かしんチャレンジマーケット in AMU広場

鹿児島中央駅AMU広場において、当金庫の顧客・経営大学の卒業生等を対象に、顧客との対面販売を通じた商品のPR販売や、従業員の「売る気と売る技術」を磨くとともに、顧客の反応を肌で感じる場の提供を平成24年より実施しております。



かしんチャレンジマーケット in おおすみ

令和4年度は鹿屋支店イベント広場において、キッチンカーによる飲食ブースの出店を2回、またマルシェの開催により市場やこども太鼓演奏などで多数の来店者があり賑わいを見せていました。



3 かしんトップマネジメント大学

お取引先法人企業経営者の人材育成および企業の業績を向上させるとともに、地域経済の浮揚を図ることを目的として、「かしんトップマネジメント大学」を平成22年から開校しております。

トップマネジメント大学では、法人企業の経営者および後継者、役員、部課長などの経営幹部を対象とし、税理士や中小企業診断士等の講師が、主に経営戦略・経営課題・財務分析を専門的に、またわかりやすく講義しています。



4 かしん経営者フォーラム

参加企業の成長・発展と人材育成を目的として、大いなる事業繁栄と地域の活性化を目指し、平成25年7月に「かしん経営者フォーラム」を開校いたしました。県内企業の若手経営者、経営幹部、後継者の方々を対象に、各界講師による経済・経営・財務・マーケティング・人事・労務などの様々な経営に関する勉強を行っています。

平成30年度より、当金庫の伴走的サポートの取組みとして事業承継問題をテーマに、専門家、当金庫職員が一体となってお客様の事業承継の課題に取り組む「事業承継塾」を開催しております。

5 かしん経営相談室

地域創生・活性化の支援と取引先の経営力強化のため、外部専門機関等と連携し、「かしん経営相談室」を無料で開設しております。

- 日時: 随時
- 会場: かしんアイホールビル2階、お取引営業店(申込事業所事務所等でも可)
- 対象: 当金庫取引先の法人企業経営者、個人事業者及び創業予定者
- 相談: 予約制とし、事前に経営相談申込書を頂いたうえでご相談に応じます。(1回の相談時間: 原則2時間)

内 容	①経営全般の相談	相談員	株式会社
	②創業・新事業相談		さくら経営支援株式会社
	③相続・事業承継相談		税理士法人
	④税務相談		鹿児島さくら優和会計
	⑤その他		

6 かしん企業サポート相談室

お取引のある法人経営者及び個人事業主が、事業承継、相続、贈与、M&A等の専門性の高い課題について、弁護士法人照国総合事務所の弁護士、税理士等へ直接相談できるもので、取引先の経営課題解決を図ることで当金庫と強固な関係を構築することを目的としています。

- 日時: 随時
- 会場: かしんアイホールビル2階
- 対象: 当金庫取引先の法人企業経営者、個人事業者及び創業予定者
- 相談: 予約制とし、事前に経営相談申込書を頂いたうえでご相談に応じます。(1回の相談時間: 原則2時間)

内 容	①事業承継・M&A相談	相談員	弁護士法人
	②税務相談		照国総合事務所
	③経営全般の相談		
	④創業・新事業相談		
	⑤その他		



商談会への出展支援

本県食品関連産業の振興を図るため、県内生産者・食品加工業者の方々を対象に、首都圏や県内外に向けて食品を紹介し、県内7金融機関で構成する「鹿児島アグリ&フード金融協議会」の一員として市場における販売ルートの開拓や販路拡大を目指す実践的な商談会を開催し、ビジネスマッチング支援を行っております。

主な商談会・事業

- 食の大商談会インフォメーションバザール(東京都)
- うんまか鹿児島輸出商談会(鹿児島県)
- よい仕事おこしフェア(東京都)
- 当金庫顧客組織の会員を対象としたサイトによるビジネスマッチング支援事業「きばいもんそ！」
- 「しんきん地域ネット(営業代行)」・「しんきんコネクト」事業
- 「超トクパスポート」発行



かしの杜

教育の杜

1 かしんアイホールセミナー

皆様の暮らしに役立てていただくことを目的として、年金・医療分野など国内情勢に応じた身近なテーマで、平成23年から「かしんアイホールセミナー」を開催しております。これからも、多くの方が興味をもたれる分野をテーマにアイホールセミナーを開催します。

最近のアイホールセミナー開催内容

◎パソコン→スマホWEB戦略変革期/メディア戦略・広報のコツ
講師：株式会社エージェンツプラスさま 代表取締役 橋口 洋和 氏
株式会社南日本新聞社 読者局読者センター長 岩松 マミ 氏

◎社会人のためのマナーセミナー 講師：中村 朋美 氏 フリーアナウンサー

◎25歳でがんになった僕～若年世代（AYA世代）のがんと就労・お金の現実～
講師：NPO法人 がんノート 代表理事 岸田 徹 氏

◎認知症予防セミナー 講師：KUMON学習療法センター



2 かしん「こども信用金庫」教室

金融教育を通じて金銭感覚を育てるとともに、当金庫を身近に感じてもらうことを目的として、平成23年から「かしん「こども信用金庫」教室」を開催しております。

セミナーでは、ものやお金の価値、お小遣い帳の上手な使い方、キャッシュレスなどについて、体験学習では、お札の数え方や端末を利用した入金業務、本物の1億円の重さの体感、支店内の見学などで金融の仕事を学びます。

参加された小学生からは、夏休みの自由研究にできるとの喜びの声もいただいております。



3 硬筆コンクール協賛

KKB硬筆コンクールは、文字を正しく、整えて、丁寧に書くことを大切にする心を育み、文字文化の振興と発展に寄与することを目的としており、当金庫も「教育の杜」事業として協賛しています。

県内外の学校や書道教室等から、出展者の日々の研鑽と指導者の熱意が強く感じられる4,000点を超える作品の応募があり、鹿児島信用金庫賞の授与も行っております。



4 かしん自然ふれあい教室

自然との触れ合いや自然体験を通じて、子供たちの健全な育成と親子の絆をより一層深めていただくことを目的に、平成30年度から「かしん自然ふれあい教室」を開催しています。

これまでに、「山」シリーズとして枕崎のNPO法人「自然花」で実施。フィールドアスレチック体験や野菜収穫等の農業体験、生地からピザをつくる食育体験、山登りなどで自然を思いっきり楽しみました。

また、「海」シリーズでは重富海岸にある「自然ふれあい館なぎさミュージアム」で実施。雄大な桜島を背に、潮が引いた後の広い干潟で貝や小魚、ゴカイなど様々な生き物の採取や分類をし、また漂着物や貝殻、松葉などを利用して自分だけのフォトフレームづくりを楽しみました。参加された親子は海の自然を満喫していました。



5 南日本小学生プログラミング大会協賛

令和4年12月、「全国選抜小学生プログラミング大会」の鹿児島県予選を兼ねて開催され、県内から予選を勝ち抜いた10組が発表しました。

当金庫はゴールド協賛企業としてこの大会に協力し、鹿児島の次代を担う小学生のプログラミング分野の発展と活躍を応援しています。



ITの杜

金庫のお客さまが、ITを活用した経営革新を進めることで企業業績を伸ばし、ひいては雇用の確保や地域経済の活性化に貢献することを目指して、令和元年12月に「ITの杜」を創設しました。

また、令和2年11月に業務連携協定式を行い、当金庫が「IT化」推進に関して業務連携している団体・企業とともに、お客さまの経営効率化や人手不足解消、売上拡大を全面的にサポートする体制の構築を目指して活動しております。

当金庫がお客さまのIT化を推進するために業務連携協定を締結した団体・企業

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州本部
 公益財団法人 かごしま産業支援センター
 リコージャパン 株式会社 鹿児島支社
 株式会社 南日本情報処理センター
 株式会社 フォーエバー
 トータル・ソフトウェア 株式会社
 一般社団法人 鹿児島情報サービス産業協会
 信金中央金庫

活動内容

- (1) ITに関するセミナーや講演の実施
- (2) ITに関する経営簡易診断
- (3) ITコーディネーターなどの専門家による派遣の指導全般
- (4) 企業のIT化実現に向けた企画・提案
- (5) ソフトウェアや通信機器等の提供およびIT導入補助金の活用



音楽の杜

1 かしんチャリティー演奏会

社会貢献活動の一環として毎年チャリティー演奏会を開催しています。ステージは、創部85年を超える「鹿児島信用金庫 吹奏楽部」と地元で活躍されている音楽家の方々と楽しいコンサートです。

また、皆さまから寄せられました慈善会員券の売上代金と寄付金の浄財は、全額社会福祉事業等へ寄付しております。皆さまの善意に深く感謝申し上げます。

なお、令和4年度は新型コロナウイルスの影響で中止としましたが、例年続けてきた社会福祉事業先への寄付は継続して行いました。



これまでの吹奏楽部の出演行事(抜粋)	主催(場所)
みどりの感謝祭「森のステージ」	鹿児島県・かごしまみどりの基金・鹿児島県森林整備公社(始良市:県民の森)
オロシティー夏まつり	鹿児島総合卸商業団地協同組合(鹿児島市)
国分夏祭り	霧島商工会議所(霧島市)
吹奏楽コンクール	鹿児島県吹奏楽連盟 他(鹿児島市)
チャリティー演奏会	当金庫(鹿児島市)
おはら祭	おはら祭振興会(鹿児島市)
吹奏楽フェスティバル	鹿児島県吹奏楽連盟(鹿児島市)
知覧地区音楽祭	知覧地区文化委員会(南九州市)
南さつま海道 鑑真の道歩き	南さつま海道鑑真の道歩き実行委員会(南さつま市)

2 南日本音楽コンクール協賛

南日本音楽コンクールの歴史は半世紀以上におよび、ピアノ、弦楽、木管、金管、打楽器、声楽、作曲の7部門に対して、参加者は小学生から大学生・一般と幅広く、県内の若手音楽家の登竜門として大きな期待を担っています。当金庫は、鹿児島の音楽文化発展のため、本コンクールに特別協賛するとともに、鹿児島信用金庫賞の授与も行っています。



かしの杜

スポーツの杜

1 かしんカップ少年サッカー大会協賛

サッカーを通じて各チームの相互の親睦と少年の健全育成をはかり、あわせてサッカーの普及ならびに技術の向上を目的として、平成18年度から「かしんカップ少年サッカー大会」を開催しております。

毎回、60チームを超える約1,000名の小学生が参加し、熱戦が繰り広げられます。また、「エコキャップ運動」を実施し、ペットボトルキャップが参加者の協力で集められ、世界の子供たちへ感染症のワクチン代として寄付するための支援活動も行っています。



2 かしん旗少年剣道大会

剣道を修行する青少年の気力・体力・技術の向上を図り、相互の親睦を深め、将来の郷土を担う青少年の健全育成を目的に平成24年から「かしん旗少年剣道大会」を開催しております。

毎回、60チームを超える約400名の少年剣士が集い、機敏な剣さばきで元気いっぱいの試合を行っております。また、回を重ねるごとに、大会規模も拡大され「かしん旗」という冠杯として県下一円に浸透しつつあります。



3 鹿児島信用金庫旗争奪全日本少年軟式野球大会協賛

全日本少年野球大会は、中学生を対象とした軟式野球大会となっており、県内の予選を勝ち抜いたチームは九州大会、そして全国大会へと挑戦することとなり「中学生の甲子園」とされ、中学生憧れの大会となっています。当金庫は優勝旗やメダルの提供を行い鹿児島県予選大会に協賛し「鹿児島信用金庫旗争奪全日本少年軟式野球大会」として開催されています。



4 いぶすき菜の花マラソン協賛

いぶすき菜の花マラソンは、全国で開催されるマラソン大会の中でその年の最初に開催される公認のマラソン大会であり、また、コース沿道では市民によるランナーへの心温まるおもてなしでも全国的に注目を集め、人気のあるマラソン大会となっております。当金庫は本大会に協賛し、市民ボランティアの一員としてイベント等の協力を行っております。

5 かしん旗争奪少年ソフトボール大会

将来の郷土を担う青少年の健全育成と選手および育成指導者の親睦を深めることを目的に、平成30年12月に「第1回かしん旗争奪少年ソフトボール大会」を開催しました。県内各地より32チーム、総勢600名を超える小学生が鹿児島市郡山総合運動場で熱戦を繰り広げました。令和4年度の第5回大会は鹿屋の女子ソフトボールチームの「MORI ALL WAVE KANOYA (モリ・オール・ウェーブ・カノヤ)」を招き少年たちと交流をしました。

今後、本大会が県下一円に浸透し、小学生の目標となる大会となることを期待して、地域スポーツの発展と青少年の健全育成に貢献していきます。



6 かしん旗争奪鹿児島県学童軟式野球大会協賛

令和元年11月より枕崎市で毎年、かしん旗争奪鹿児島県学童軟式野球大会を開催しております。

令和4年度は、将来のプロ野球選手を夢見る県内16チーム約300名の学童が、元気いっぱいのプレーで優勝旗を目指して白熱した試合が展開されました。今後も中学生大会と共に野球をとおして、青少年の健全育成の一助となるように、また参加された選手のお互いの友情がさらに深まり思い出に残る大会となるよう協賛していきます。



緑の杜

当金庫では「みどり豊かな郷土」を次世代に引き継いでいくために、森林づくりや、環境緑化に取り組んでいます。「緑の杜」事業の一環として、「公益財団法人かごしまみどりの基金」へ毎年寄付を行い、鹿児島県の森林整備に役立てていただいております。また、毎回春に開催される「みどりの感謝祭」において、森林整備に取り組んでいる企業として同基金より感謝状をいただき、職員と家族による森林づくり活動も行っています。

令和4年度は金庫創立100周年記念寄付を行いました。



お取引先とのつながりについて

かしんハッピー会

当金庫では、早くからお取引先との組織作りに力を入れております。

昭和38年11月、鹿児島信用金庫本店新築前に若手経営者の有志22名が将来の鹿児島の中核を目指し、また、当金庫の強力な推進母体となるべく、お互いの研鑽努力を誓いあって「かしんハッピー会」をスタートしました。その後、会員数も増加し、「会員の資質向上を図る場」「異業種交流の場」「会員相互間の親睦と連携を深める場」として全営業店単位で組織化、平成25年11月には設立50周年を迎え、現在は約1,400名の会員で活動しております。また、講演会では毎回600名を超える参加者のもと、各界の著名な講師陣による講演会を開催しており、皆さまから好評をいただいております。



【これまでの講師陣】(肩書は当時)

- 共同通信社編集委員 / 橋本卓典 氏
- プロゴルファー・作家 / 坂田信弘 氏
- 吉野家ホールディングス会長 / 安部修仁 氏
- 政治ジャーナリスト / 後藤謙次 氏
- シンクタンク・ソフィアバンク代表 / 藤沢久美 氏
- 鹿児島県観光プロデューサー / 古木圭介 氏
- 俳優 / 榎本孝明 氏
- 奄美パーク園長 / 宮崎緑 氏
- 野球解説者・スポーツコメンテーター / 広澤克実 氏
- 志学館大学教授・鹿児島県立図書館館長 / 原口泉 氏

目的

- ・会員の資質向上・福祉の増進及び会員相互の親睦と友愛強調を図り、事業の健全経営を図る。
- ・金庫の事業進展に積極的に協力する。

活動内容

- ・各界講師・金庫役員等による講演会
- ・会員相互並びに金庫との情報交換や懇談会
- ・経営幹部のための諸研修会の開催
- ・ビジネスマッチング
- ・ゴルフコンペやその他の親睦会 など

KYC (鹿児島信用金庫青年クラブ)

次世代を担う若手経営者が、これから学びかつ進むべき道をお互いの連携の中で求め、鹿児島に寄与することをスローガンとして昭和49年に発足した異業種交流会であり、原則として50歳未満の会員をもって構成されています。

主な活動内容としては、月例会、ボランティア活動、講演会、視察旅行、チャリティバザー等で会員自身による自主的な計画のもとで活動しています。



かしんレディース会

働く場面での活躍を希望する全ての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる女性活躍社会の実現を応援するため、異業種交流によるキャリアアップとより輝きのある女性を目指すことを目的として、「かしんレディース会」を発会しました。

本会は、女性経営者をはじめとした多くの社会人女性の方々が構成されており、キャリアアップの為にセミナーや講演会等の様々な事業を実施しております。



金融仲介機能の発揮に向けた取組み

(基準日:令和4年3月31日)

当金庫は、「かしの杜(経営の杜)」を通じて展開している「地域とともに成長・発展する好循環に向けた取組み」を客観的に指数で表した、「金融仲介機能のベンチマーク」を公表するとともに、これらの指標を活用したお取引先への経営課題に応じたソリューションの提供に積極的に取り組んでまいります。

◆法人取引先数と地域別の取引先数及びメイン取引(融資残高1位)先数の推移

(単位:社)

	令和2年3月末			令和3年3月末			令和4年3月末		
	鹿児島市内	鹿児島市外	地元外	鹿児島市内	鹿児島市外	地元外	鹿児島市内	鹿児島市外	地元外
法人取引先数	2,633			2,681			2,643		
地域別の取引先数の推移	1,302	1,327	4	1,335	1,342	4	1,311	1,328	4
法人メイン取引(融資残高1位)先数の推移	1,703			1,802			1,782		
法人取引先数に占める割合	64.7%			67.2%			67.4%		

◆メインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業(法人及び個人事業者)のうち経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加がみられた先数、及び同先に対する融資額の推移

	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末
全企業数(法人及び個人事業者)[グループ単位]	4,425	4,551	4,484
メイン取引(融資残高1位)先数(単位:社)	3,427	3,597	3,551
メイン取引先の融資残高(単位:億円)	1,140	1,241	1,190
経営指標等が改善した先数(単位:社)			1,173
3年間の事業年度末の融資残高(単位:億円)	549	642	649

◆ライフステージ別の企業(法人及び個人事業者)先数及び融資額

	全企業先	ライフステージ		
		創業期	安定期	再生期
ライフステージ別の企業に係る事業年度末の企業先数(単位:先)	4,484	318	2,648	336
事業性評価に基づく融資を行っている企業先数及び占める割合(単位:社)	138			
	3.1%			
ライフステージ別の企業に係る事業年度末の融資残高(単位:億円)	1,686	70	1,217	219
事業性評価に基づく融資を行っている企業先の融資残高及び占める割合(単位:億円)	152			
	9.0%			

◆本業（企業価値の向上）支援先数及び、全取引先数に占める割合

（単位：社）

	全取引先数	本業支援先数	支援先の比率
本業支援先数及び、全取引先数に占める割合	4,484	289	6.4%
本業支援のうち、経営改善がみられた先	—	(217)	(75.0%)
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先	19		

本業支援先：かしん経営大学、かしんチャレンジマーケット、各種商談会等への参加企業数

◆中小企業向け融資や本業支援を主に担当している従業員数及び全支店または全本部従業員に占める割合

		従業員数 (単位：人)	中小企業・本業支援担当者数 (単位：人)	全従業員に占める割合
中小企業向け融資や本業支援を主に担当している従業員数及び全支店または全本部従業員に占める割合	支店従業員	337	133	39.5%
	本部従業員	118	32	27.1%

◆貸出条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

（単位：社）

	総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	386	13	64	309
事業再生先 (取引先の経営再建や事業再生に取り組んでいる先)	23	1	14	8
中間管理先 (取引先の経営改善や経営課題解決に取り組んでいる先)	75	4	19	52
計	98	5	33	60
構成比	100%	5.1%	33.6%	61.2%

◆本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

	令和4年3月末
創業に関与した件数(単位：件)	22
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数(単位：社)	1
事業承継支援先数(単位：社)	1
REVIC、中小企業再生支援協議会の利用件数(単位：社)	4